エコロジーお風呂
節約宣言®
24H FULL TIME ECOLOGY BATH SYSTEM

取扱説明書
保　証　書

Type-SGR

Manual ver. 3.2

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願いします。またお取り付けの際は本書および取付工事マニュアルにしたがい、正しくお取り付け願います。
本書の巻末は保証書になっております。
本書は大切に保管願います。

《目 次》

ページ	内　容
1・2	安全上のお知らせ
3	システム構造図
4	付属品
5・6	本体取り付け・始動方法
7	コントロールパネルの操作方法
8	洗浄・交換・お手入れ方法
9	このようなときはにQ&A
10	アフターサービスと保証について
11	保証書・仕様

安全上のお知らせ

安全のために必ずお守りください。

ご使用の前によくお読みいただき、正しくお使いください。

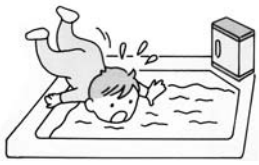
⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死傷を負う危険、または火災の危険が想定される内容を示しています。

①故障や異常に気づいたときは必ず点検修理依頼をしてください。また商品の新規運転開始から 6 年後、その後は 3 年毎には異常がなくても安全点検をご依頼ください。

②万一の感電・故障防止のため、必ずアースを接続してください。アースを接続できない場合は雷サージ・過電流防止機能付きの電源タップをご使用ください。

③常に浴槽にはお湯が満たされた状態ですので、小さなお子様や体のご不自由な方など、浴槽内への転倒にはくれぐれもご注意ください。



④事故防止のため、入浴していない時は必ず浴槽にフタをしてください。

⑤お湯の温度に異常がないか、入浴前に湯加減を手で確かめてから入浴してください。

⑥長髪の方は束ねるか、シャワーキャップをかぶるなどして、入水口に髪が吸い込まれないようにご注意ください。

⑦本装置が作動中に浴槽内に潜らないでください。入水口に髪の毛や皮膚が吸い込まれて溺れる可能性があります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死傷を負う可能性、また軽傷あるいは物的損害が想定される内容を示しています。

①本装置の上に乗ったり、重い物を置いたり、振動や衝撃を与えないでください。故障やケガなどの原因になります。また振動や衝撃を与えますと転倒安全装置が作動し停止することがあります。

②本体やパネル部に多量の水やお湯をかけたり、浸水させたりしないでください。感電や故障などの原因になります。

③フィルターケースに指定外の部材を入れないでください。湯質の異常や故障の原因になります。

④浴槽内の入水口・出水口を手や足、タオルなどでふさがないでください。ケガや故障などの原因になります。

⑤追い焚きや給湯により、浴槽内の温度を 50℃以上にしないでください。やけどや故障などの原因になります。

⑥本装置を絶対に分解・改造したりしないでください。事故・故障・火災などの原因になります。

⑦本体が設置台や固定用チェーンでしっかり固定されているか確認してください。本体が転倒してケガや故障などの原因になります。（本体固定チェーン・チェーン固定具は本体の転倒防止を保証するものではありません）

⑧本装置の使用により体調や皮膚に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し専門医に相談してください。

⑨電源を浴室内に持ち込まないでください。また、余った電源コードを切断しないでください。感電や故障などの原因になります。

⑩たこ足配線はしないでください。ブレーカーが作動したり、火災や故障などの原因になります。

⑪電源コンセントにゴミなどが入っていないかご確認のうえ、漏電しゃ断器を奥までしっかりと差し込んでください。漏電、火災、故障などの原因になります。

⑫漏電しゃ断器（コンセント部）に水分がかからないようにしてください。火災、故障などの原因になります。また、漏電しゃ断器を分解・改造したり、他のブレーカーと交換しないでください。安全装置が働かず感電の恐れがあり大変危険です。

⑬漏電しゃ断器が正常に作動しているか、テストボタンで月 1 回程度確認してください。故障していますと感電などの原因になります。

⚠ 注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性、また物的損害が想定される内容を示しています。

【お手入れについて】

①フィルターケース内のヘアーキャッチャーはできるだけ入浴後に洗浄してください。銀イオン抗菌ろ過材は、週に２～３回を目安に洗浄し、汚れた場合はその都度洗浄してください。汚れが蓄積されていますとポンプに負担がかかり、本装置の故障や寿命を縮める原因になります。

②浴水は定期的に交換してください。3～4 人位までの家族ですと２週間に 1 回を目安に交換してください。また浴水に臭気やヌメリなどが気になり出した場合はその都度交換してください。

③本体やパネルのお手入れは、軟らかい布で拭くだけにしてください。有機溶剤（シンナー・ベンジン等）、揮発油（灯油・ガソリン等）、研磨剤（クレンザー・たわし等）などは使用しないでください。

④本装置の本体内配管洗浄（本書 8 ページ参考）は、3～6 ヶ月に 1 度を目安に実施してください。配管内部に汚れが蓄積されてきますとポンプに負担がかかったり、浄化が充分にできなくなります。

⑤長期間使用しない場合は本体内配管洗浄を行い、ろ過材を外して乾燥させて保管してください。設置台下のネジ 1 本を外し、本体後部の電源コードコネクターを抜き、浴室外の乾燥した場所で保管してください。運転せずに浴室内で長期間保管しますと内部に結露や凍結等が生じ、故障（保証対象外）の原因になります。

【ご使用について】

①本装置を取り付ける前に浴槽の内側や底部を洗剤でよく洗浄してください。タンパク質や水垢などの成分が付着したままですと、浴槽の底などに茶色い砂状の着色が生じることがあります。

②風呂釜や追い焚き式ボイラーをお使いの場合は、本装置を取り付ける前に各機器メーカーの指示に従い、内部を洗浄することをおすすめします。湯垢が剥がれ落ちて流出したり、お湯の濁り、臭気の原因になります。

③300ℓ（実質水量 250ℓ位）以上の浴槽で使用する場合や、目安として 5 人以上の入浴者数でご利用の場合、保温や浄化が充分にできないことがあります。その場合は大容量フィルターをおすすめします。お買い求めの販売店にご相談願います。浴槽が大きく湯温が上がりにくい場合は市販の保温シートの併用をおすすめします。

④風呂釜などで沸かし過ぎたり、給湯で熱いお湯を吸い込んだ場合、本装置は 60℃前後で安全装置が働き、運転を停止します。その場合は安全のため再運転できなくなりますので点検をご依頼ください。

⑤浴槽の材質により、変色したり膨れなどが生じることがあります。

⑥入浴剤は指定のものをお使いください。市販品の中には粒子が粗いものや粘度の高いものがあり、本装置の寿命を縮めたり故障などの原因になることがあります。

⑦本装置に鉄分・カルシウム・マグネシウム・硫化水素・その他温泉成分などが多量に含まれる水を循環させますと、本装置やろ過材の寿命を縮めたり、故障の原因になることがあります。

⑧入浴しない時間帯などに浴槽にお湯を入れたまま運転を停止させないでください。浴水を浄化・抗菌できず濁りや臭気、ろ過材の詰まりや本体の故障の原因になります。

沸かし過ぎや高温給湯により60℃前後のお湯を吸い込みますと、湯温の安全装置（温度サーモ）が作動し、各電子部品の安全確認点検が必要になり再運転できなくなります。その場合はお買い求めの販売店か、製造元（本書11ページの保証書欄に記載）まで点検をご依頼ください。

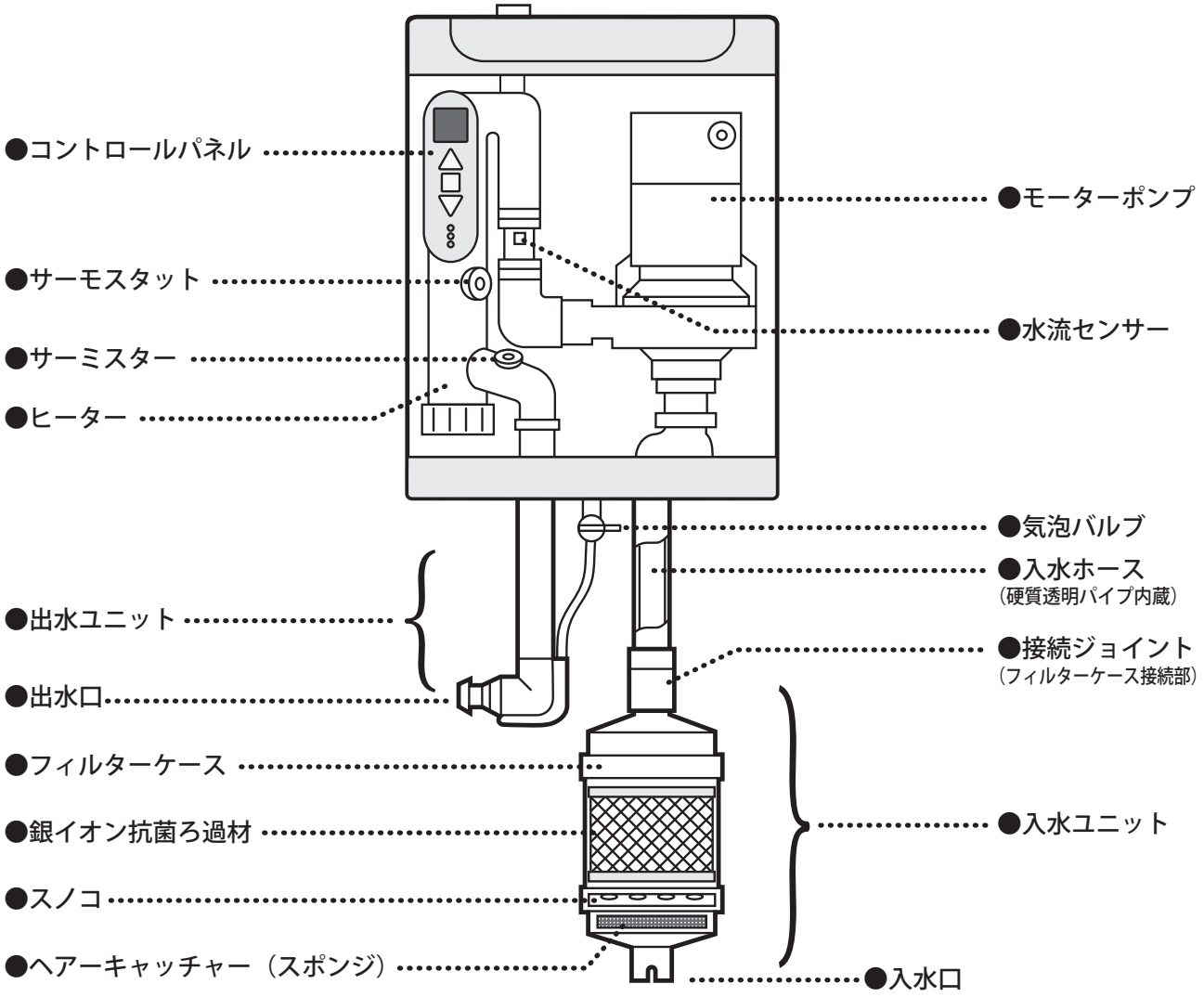
本装置は製品の大きな故障を防ぎ、最小限の部品交換で末永くご使用頂くために、点検お知らせ機能が付いています。点検やお手入れが必要になった際に、運転を自動停止してお知らせし、お客様の安全を守ります。点検や修理にお出し頂く際はお買い求めの販売店か、製造メーカーまでご連絡ください。

『節約宣言』は軽量で、本体のみがネジ 1 本で簡単に外しやすい構造となっております。点検や万一の故障の際は本体をメーカーへお送り頂き、修理点検後に返送するシステムにより、人件費や出張費等も非常に圧縮でき、安上がりになっております。もちろんサービスマンをご依頼の際も、全国 500 ヶ所以上のサービス体制を完備。お近くの窓口から迅速対応致します。

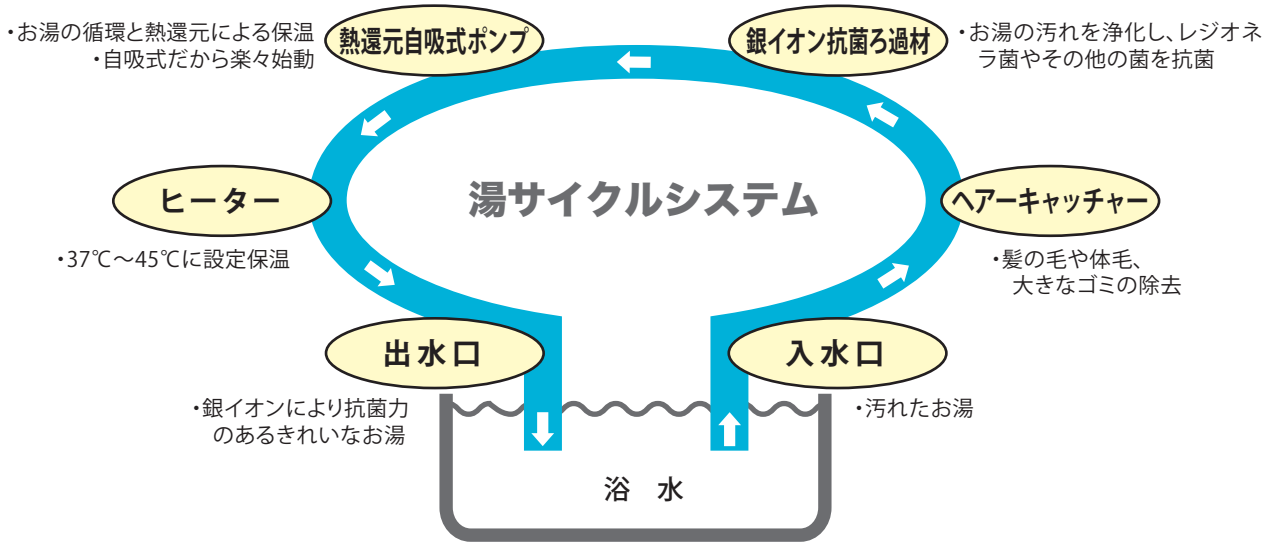
循環ろ過システムの構造。

水資源と生活排水を大幅に節減し、CO_2を出さない。
地球と家計に優しい湯サイクルシステム。

システム構造図



※上記はイメージ図ですので実際の部品の形状と異なることがあります。



付属部品

●本体

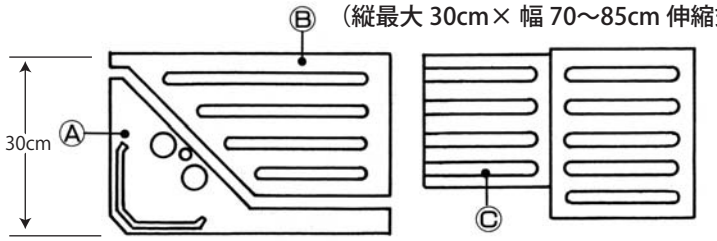
●漏電しゃ断器（重要）

本体の振動や衝撃を感知し電源を遮断します。

《漏電しゃ断器について》
漏電表示ランプが点灯している状態では本体側へ通電しないため、運転はできません。リセットボタンを強めに押して解除してください。通電しますと本体側に赤ランプが点灯します。
（月に1回程度はテストボタンを押し、正常に作動するか確認することをおすすめします。漏電表示ランプが点灯したら正常です。テスト後はリセットボタンを押して通電させ、本体を作動させてください。）

●Ⓐ設置台　●ⒷⒸ補助パネル

（縦最大 30cm× 幅 70～85cm 伸縮式）



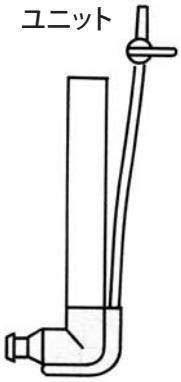
●本体固定用チェーン

●出水口当たり防止吸盤
（浴槽と出水口裏側との当たり振動防止用）

●チェーン固定具

※本体固定チェーンおよびチェーン固定具は、本体の転倒防止を保証するものではありません。必要に応じて別途補強をしてください。

●出水ホース
ユニット



●電源コード固定具
（10 個）

●取扱説明書・保証書（本書）

入水ユニット

●本体下の吸水口へ

●入水ホース
硬質透明パイプ内蔵

●ジョイント部
ジョイントの上部は入水ホースにセットしてあります。ろ過材洗浄時はジョイントからフィルターケースを外します。
ジョイントの下部はフィルターケースにセットしてあります。

●フィルターケース

●銀イオン抗菌ろ過材
1 年分（2 個入り）
風呂水清浄剤（風呂水ワンダー等）は使用不可。ろ過材の形状やネット袋は図と異なる場合があります。

●スノコ

●ヘアーキャッチャー
1 年分（4 枚入り）

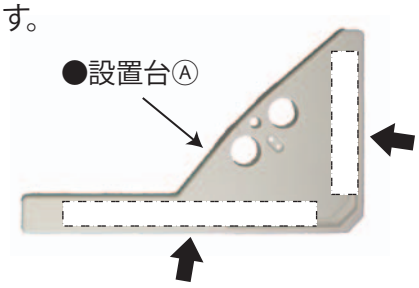
●フタ

入水口

本体取り付け・始動方法

1 設置台の取り付け

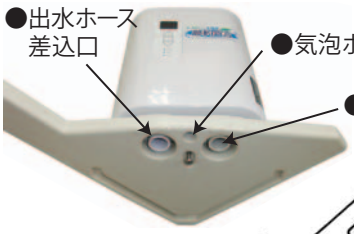
■設置台Ⓐに、付属の厚手両面テープを貼り、浴槽の縁にしっかりと貼り付けます。状況により防水と耐久性の向上のため、浴槽と両面テープの間にコーキング処理を施すことをお勧めします。

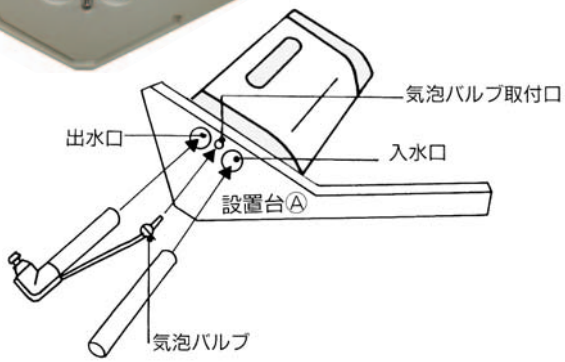


2 仮置きとホースの接続

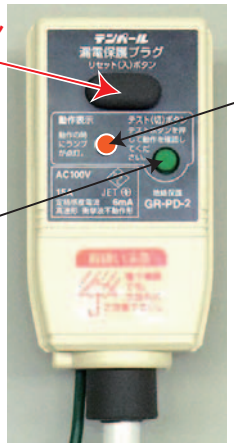
■浴槽に取り付けた設置台Ⓐに、本体を仮置きします。

■出水ホースユニットは左側へ、気泡ホースは中央へ、入水ホースユニットは右側へしっかりと差し込みます。





5 漏電しゃ断器のテスト



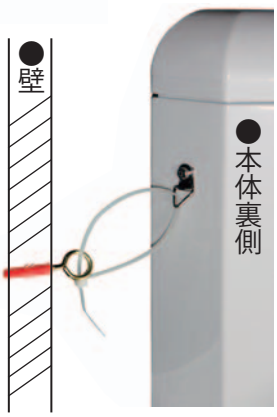
漏電表示ランプが点灯している時は、本体への通電をしゃ断し、本体側の電源ランプ（赤）は消えています。**中央のリセットボタンを押して解除**してください。

■漏電や、本体に振動や衝撃が加わりますと安全のため漏電しゃ断器が作動して本体への通電を遮断します。取り付け時には、仮置きした本体を50度ほど傾けて漏電しゃ断器が作動するかテストしてください。月に一度はテストボタンを押して漏電しゃ断器の作動テストをするようおすすめします。リセットボタンを強く押すと漏電しゃ断器が解除できます。

6 本体の固定

■本体底の防振クッション類は剥がさずに設置台にセットします。ネジ穴位置に注意しながら設置台の裏から付属のネジで本体へ締め付けます。（強く絞め過ぎないように注意）

■本体裏側に転倒防止部品を取り付けます。壁側に4mm程の穴を開け、スタープラグ（赤）を打ち込んでヒートン（金具）をねじ込み、結束バンドか固定用チェーンで本体を結びます。プラグが打ち込めない場合は壁掛けフックなどを利用して固定してください。



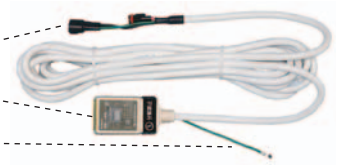
⚠ お取付け前のご注意

①本装置を取り付ける前に浴槽の内側や底部を洗剤でよく洗浄してください。タンパク質や水垢などの成分が付着したままですと、浴槽の底などに茶色い砂状の着色が生じることがあります。

②風呂釜や追い焚き式ボイラーをお使いの場合は、本装置を取り付ける前に、各機器メーカーの指示に従い、内部を洗浄することをおすすめします。設置当初、湯垢が剥がれ落ちて流出したり、お湯の濁り、臭気の原因になることがあります。

3 電源コードの配線

■下記のような方法で浴室外のコンセントに配線します。配線が困難な場合や、漏電しゃ断器の分解が必要の際は取付工事をご依頼ください。



壁穴

ドアの空気口

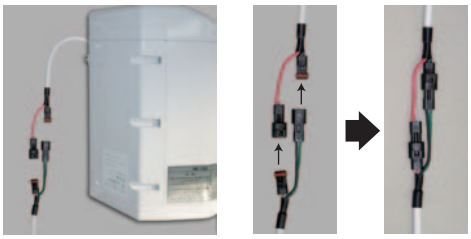
ドアの角

アクリル窓

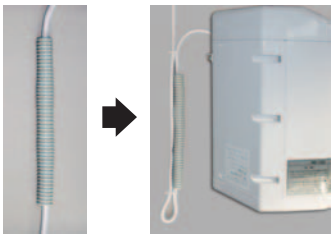
※アースは必ず行なってください。アースが困難な場合は雷サージ・過電流防止機能付きの電源タップを使用してください。

4 コネクターの接続

■本体後部のコネクターと、電源コードのコネクターを接続します。カチッと音がするまで確実に差し込みます。赤い防水ゴムパッキンを無くさないようご注意願います。
付属のカバーをかぶせ、コードは少し余裕を持たせて束ねます。



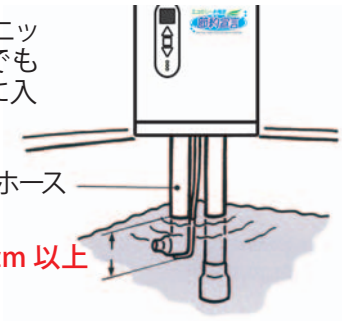
※水で濡らさないようご注意ください。



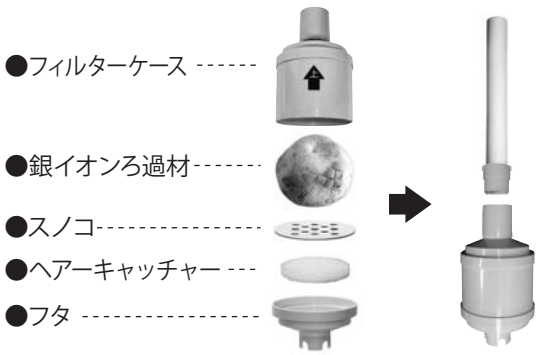
※カバーの上からビニールテープなどを巻いて密封しないでください。結露の恐れがあります。

7 お湯とろ過材のセット

■お湯は出水ホースユニットの出水口より最低でも10cm以上になるように入れてください。



■各ろ過材を水洗いし、下図のようにフィルターケースにセットします。浴槽に沈めて内部の空気を充分抜き、次の 8 でお湯の循環を開始してから入水ホースのジョイント部に差込んでください。

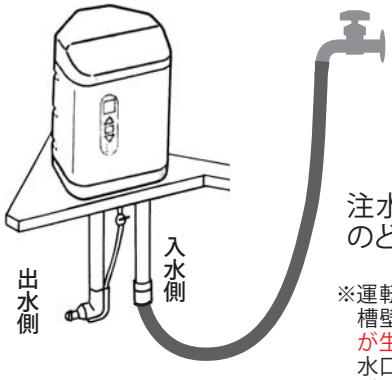


8 運転開始

■呼び水始動方法

①運転ボタンを押すだけでお湯を吸い込み循環を開始する自吸式ポンプを採用していますが、初回運転開始時や、本体内から水が完全に抜けた場合など、呼び水が必要になることがあります。フィルターケースを外し、水道蛇口に市販のホースをつなぎ、入水口か出水口に差し込んで、本体内に水を注入します。（市販の灯油ポンプでも可）

②本体内の空気が完全に抜けて、反対側のホースから気泡が出なくなりましたらそのまま運転ボタンを押して、始動してください。



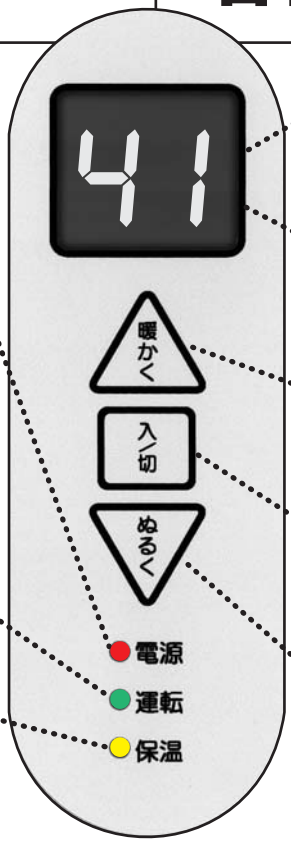
注水は出水側・入水側のどちらでもOK

※運転中に出水口の裏側が浴槽壁に当たり、カタカタと音が生じる場合は、付属の「出水口当たり防止吸盤（4 ページ）」をご使用ください。

⚠
コントロールパネル部に集中的に湯水やシャワーをかけたりしないでください。故障の原因になります。

コントロールパネルの名称と働き・操作方法

各部の名称と働き



重要

電源ランプ（赤）

電源コンセントに接続しても電源ランプが点灯していない場合は、4・5ページをご参考のうえ、漏電しゃ断器（電源コンセント差込み部）にある四角いリセットボタンを強めに押して通電させてください。※本体に振動や衝撃が加わりますと安全のため漏電しゃ断器が作動し本体への電源を遮断します。

運転ランプ（緑）

循環運転中に点灯します。

保温ランプ（黄）

湯温が設定温度より1℃下がるとヒーターが作動し保温ランプが点灯します。設定温度に達するとヒーターが切れ保温ランプが消灯します。

現在温度の表示

現在の湯温が常時表示されています。

設定した温度の表示

下記の温度設定ボタンを押すと設定した温度が約 5 秒間表示されます。

温度設定（上げる）

湯温を上げたいときに押します。1 回押すと現在の設定温度が表示され、2 回以降 1℃ずつ上がります。

運転（入／切）

1 回押すと本体が作動し運転ランプが点灯します。運転中に押すと停止し運転ランプが消えます。

温度設定（下げる）

湯温を下げたいときに押します。1 回押すと現在の設定温度が表示され、2 回以降 1℃ずつ下がります。

操作方法

1 運転ボタン

入／切

- 1回押すと運転ランプが点灯し、ポンプが作動して浴水の循環が始まります。
- 運転中に押すと停止し運転ランプが消えます。

※電源ランプが点灯していない場合は、運転ボタンを押しても作動しません。4・5ページをご参考のうえ、漏電しゃ断器にある四角いリセットボタンを押して通電させてください。

2 温度設定ボタン

温度表示

- 通常は現在の湯温が表示されています。「暖かく」・「ぬるく」どちらかのボタンを1回押すと現在の設定温度が表示されます。（設定温度の表示は約5秒で消え、現在湯温の表示になります）
- ボタンを2回以降押すと1℃ずつ設定温度が変化します。37℃～45℃の間で希望の温度が表示されるまでボタンを押して設定してください。
- 設定した温度は記憶され、湯温の±1℃でヒーターが入切されます。

※ポンプの熱を保温に利用する節電構造のため、夏場など気温の高い時期に、ヒーターが作動しなくても湯温が設定温度以上に上がることがあります。その際は設定温度を下げたり、風呂蓋を開けたり、水を足すなどして調節してください。

3 お湯の温度表示について 重要

- **36℃以下のとき ……「Lo」と点滅表示**
- **37℃～45℃のとき …… 37～45の数字で表示**
- **46℃以上のとき ……「Hi」と点滅表示**
- **60℃以上のとき …… 安全装置が働き運転が停止します**
  ※±10%

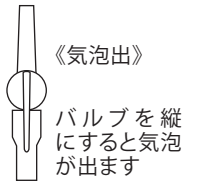
⚠ 注意

※湯温の安全装置が働いた場合は安全のため再運転できなくなりますのでお買い求めの販売店か、製造元までロック解除と点検をご依頼ください。

※本装置のヒーターは保温のための機能です。お湯の温度が大幅に下がったときや、冷水の場合は、現在ご利用の追い焚きや給湯をご利用ください。

※温度表示パネルに「E 4」、または「E 5」と表示された場合はサーミスターの異常ですので、電源を抜き、直ちにお買い求めの販売店か、製造元まで修理を依頼してください。

4 気泡バルブ



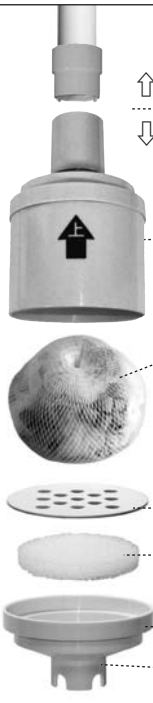
バルブを縦にすると気泡が出ます

バルブを横にすると気泡が止まります

洗浄・交換
お手入れ方法

⚠ 長期間使用しない場合はろ過材などの部材をよく洗浄し、本体から外して乾燥させて保管してください。本体は配管洗浄を行い、本書5〜6ページをご参考の上、設置台下のネジ1本を外し、本体後部の電源コードコネクターを抜き、完全に乾いた状態で浴室外の乾燥した場所で保管してください。運転せずに浴室内で長期間保管しますと内部の部品に結露や凍結等が生じ、故障（保証対象外）の原因になります。

フィルター部の名称と順番



●ヘアーキャッチャー、銀イオン抗菌ろ過材、ネット類、専用入浴剤は、お買い求めの販売店までお申し付けください。

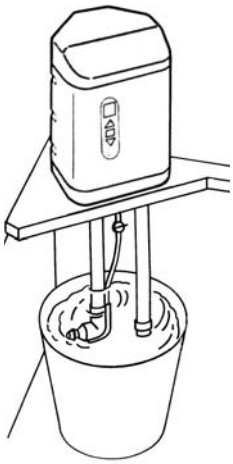
本体内配管洗浄

本体内の配管内部などに付着した汚れを定期的に洗浄し、衛生面やお湯の循環水量を元通りにクリアします。3〜6ヶ月に1度を目安に行いましょう（お手入れは汚れ具合により増減してください）。

●準備

①ろ過材はフィルターケースごとすべて外します。
②薬局やホームセンター等で市販の液体配管洗浄剤を用意します。（ジョンソン製のパイプユニッシュ推奨）
※洗浄剤は塩素系で、皮膚に触れると危険ですので、洗浄剤の説明に従いゴム手袋を履くなどして注意してお取り扱い願います。

●バケツを利用する方法



①浴槽のお湯を捨て、10〜15ℓほどの深めのバケツを用意し、入水口・出水口が10㎝以上隠れるようにいっぱいの湯（水）を入れます。

②運転ボタンを押してバケツの中で循環を開始し、設定温度は45度にします。（呼び水が必要になることがあります。その場合は6ページをご参考ください）

③循環中のバケツに液体配管洗浄剤（パイプユニッシュの場合）を100〜200cc〜ほど注ぎ、1時間ほど運転します。※洗浄剤の注意書きに従い、手に触れぬよう必ず循環を開始してから洗浄剤を入れてください。

④1時間ほど経ったら循環中のバケツに蛇口か水道ホースで水を注ぎ、溢れさせながら泡が出なくなるまですすぎ運転をします。すすぎ後は浴槽を洗浄し、お湯を張って通常運転してください。

●浴槽のまま洗浄する方法

①浴槽のお湯は入水口・出水口が隠れている状態で、少なめにします。
②45度に設定し、循環運転しながら液体配管洗浄剤（パイプユニッシュの場合）を500〜800cc〜ほど注ぎ、3時間ほど運転します。
③運転を止めて浴槽のお湯を捨てます。水道ホースで水を入水口から強めに注ぐか、浴槽に水を張り循環運転して本体内をすすぎます。

⚠ 本体内部の汚れや詰まりが原因の故障は保証期間内でも有料となります。

洗浄方法

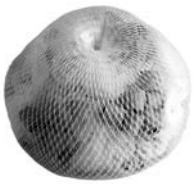
❶本体は運転したままで作業できます。ジョイント（接続口）からフィルターケースを抜き取ります。
❷フィルターケースのフタを外して、銀イオン抗菌ろ過材・スノコ・ヘアーキャッチャーを取り出します。スノコは入水口から指で押すと簡単に外せます。
❸ヘアーキャッチャーと銀イオン抗菌ろ過材をお湯か水で、汚れが落ちるまで、よくもみ洗いしてください。
❹左図を参考にフィルターケースにセットして、浴槽内で空気を抜いてからジョイントに接続してください。

ヘアーキャッチャー

●ヘアーキャッチャーは髪の毛などの大きなゴミをキャッチしますので、できるだけ毎日、入浴後に洗浄してください。変色しても破れていない限り使用できます。

●3ヶ月を目安に交換してください。（1年分：4枚入り）

銀イオン抗菌ろ過材



●銀イオン抗菌ろ過材は週に2〜3回を目安に、汚れた場合はその都度洗浄してください。汚れが多かったり詰まりやすい場合は、時々せっけんやボディーシャンプー等で洗いますと、ろ過能力が回復します。

●6ヶ月に1度交換してください。抗菌効果は約6ヶ月でなくなります。（1年分：2個入り）

※塩素系の風呂水清浄剤（風呂水ワンダーなど）は使用しないでください。銀イオンが著しく消耗し、ろ過・抗菌能力を損ないます。

※ろ過材の形状やネット袋は図と異なる場合があります。

お湯の交換

●お湯を交換する時は本体の運転ボタン（入／切）を押し、運転を停止してから行なってください。

●お湯は、3〜4人家族で2週間に1度を目安に交換してください。お湯がキレイであっても2週間に1度の交換をおすすめします。2週間経たなくても浴水に濁りや臭気が生じた場合はその都度お湯を交換してください。

※入浴人数が5人以上の場合や、大きめの浴槽の場合は大容量フィルターをご用意しております。

このようなときにはQ＆A

修理をご依頼頂く前にご確認ください。

■運転動作について

①電源ランプが点灯しない

●地震や、本体にぶつかったりして振動や衝撃が生じますと、安全装置が働き、電源コンセント差込み部の漏電しゃ断器が作動します。その場合、漏電しゃ断器の漏電表示ランプが点灯し、電気を遮断します（本体の赤い電源ランプは消灯状態です）。その場合は四角いリセットボタンを押して、通電させてください。（本書4・5ページをご参考ください）

●漏電しゃ断器（電源コード）はコンセントに完全に差し込まれていますか？

●家屋のブレーカーが落ちていませんか？

②使用中に運転が止まる

●ろ過材やヘアキャッチャーに汚れが蓄積されていませんか？　詰まりますとセンサーが働き運転を停止します。ろ過材やヘアキャッチャーを充分に洗浄してください。

※ろ過材が詰まりやすく、汚れが激しい場合は、石鹸やボディシャンプーを少量付けて洗って頂きますと、浄化能力が回復します。その際は充分すすいでください。

●多量の空気を出す機器と併用していませんか？
入水口から空気を吸い込むと安全装置が働き停止します。

●電源コンセントの漏電しゃ断器が作動し、漏電表示ランプが点灯した状態ではありませんか？　漏電しゃ断器のリセットボタンを押して通電してください。（本書4・5ページをご参考ください）

●ホースが途中で折れていたり、つぶれていませんか？
入水ホース内部の硬質透明パイプは入れたままでご使用ください。硬質透明パイプが入っていないとホースが扁平し、お湯が循環しなくなることがあります。

●入浴しない時間帯に運転を止めていませんか？　ろ過材が著しく汚れ、安全装置により停止することがあります。

●大きな故障を防ぎ、最小限の部品交換で済むように、点検やお手入れが必要な状態になると、運転を自動停止してお知らせします。点検や修理にお出し頂く際はお買い求めの販売店か、製造メーカーまでご連絡ください。

③水流が弱い

●ヘアーキャッチャーや銀イオン抗菌ろ過材が汚れて詰まっていませんか？

●入水口にタオルや異物が吸い込まれていませんか？

●ホースが途中で折れていたり、つぶれていませんか？
入水ホース内部の硬質透明パイプは入れたままでご使用ください。硬質透明パイプが入っていないとホースが扁平し、お湯が循環しなくなることがあります。

●本体内配管洗浄は行っていますか？（8ページ参考）

④フィルターケースが外れない

●ろ過材が詰まりやすくなりますと負荷がかかり外れにくくなります。その場合は運転を停止して外してください。

●ジョイント部を両手で持ち、回しながら外してください。

⑤運転開始できない・すぐ止まる

（6ページも併せてご参考ください）

1.水道の蛇口から市販のホースで入水口につなぎ、本体内に水かお湯を注入します。

2.充分注水し、出水口から空気の気泡が出なくなったら運転（入／切）ボタンを押して、循環を確認します。

3.フィルターケースをセットします。

⑥運転ボタン（入／切）を押しても動作しない

●電源ランプ（赤）は点灯していますか？
①をご参考の上、ご確認ください。

●呼び水は充分しましたか？（6ページご参考）

●浴槽のお湯は入・出水口より10cm以上溜まっていますか？

●お湯の温度が60℃前後以上になっていませんか？

●フィルターケース内の空気は完全に抜けていますか？

●ろ過材が汚れて詰まっていませんか？

⑦気泡が出ない

●エアーホースは正しく接続されていますか？
抜けていたり、ねじれていたり、折れていないか確認してください。また気泡バルブのレバーも確認してください。

⑧「Ｅ４」または「Ｅ５」と表示される

●サーミスターの異常です。直ちに運転を止めて、電源コード（漏電しゃ断器）をコンセントから抜き、お買い求めの販売店か、製造元まで修理をご依頼ください。

⑨「Lo」と表示される

●お湯が36度以下ですと「Lo」（ロー：低いという意味）と表示されます。下記の原因が考えられます。（7ページご参考）

⇨温度設定が37度で、一時的に37度未満になりヒーターが作動している。この場合は正常動作ですのでそのままご使用頂いて問題ありません。

⇨低温のお湯を入れませんでしたか？
本装置のヒーターは保温のための機能です。お湯の温度が大幅に下がったときや、浴槽に冷水を溜めた場合は、設定温度に上昇するまで数時間を要することがあります。現在ご利用の追い焚きや給湯で湯温を上げてください。

⇨300ℓ（実質湯量250ℓ）以上の浴槽で使用していませんか？　大きめの浴槽やタイルなどの材質の場合、冬期など設定温度を維持できない場合があります。その場合は通常の風呂フタの他にホームセンターなどで市販の保温シートの併用をおすすめします。お湯の上に保温シートを浮かべたり、風呂フタの裏に貼るなどして、二重フタにしますと保温性能が向上し、電気代の節約にもつながります。

⑩「Lo」と表示されて停止してしまう

●本体内に空気が溜っている可能性がありますので、⑤や本書6ページをご参考の上、再度呼び水を行なってください。

⑪以前の機械より運転音が気になる

●節約宣言には、一般的な商品よりも強力な、スイッチオンで一発始動できる自吸式ポンプを搭載しております。そのため旧型よりも若干運転音が高めに感じることがあります。

■24時間風呂の上手な使い方

●体や髪を洗って流す時に、浴槽のお湯を汲んで流し、お湯が減った分を給湯して足します。お湯が自然に入れ替わるのでフィルターの負担が軽減します。

●通常の風呂フタのほかに、お湯の上に保温シートを浮かべたり、風呂フタの裏に貼るなどして、二重フタにします。保温性が向上し、ヒーターの稼働も軽減するので電気代の節約につながります。大きめの浴槽は特に節約につながります。ホームセンターなどでお買い求めください。

●浴槽のお湯の境目や内側に24時間風呂特有のヌメリが生ずることがあります。気になる場合はタオルなどで拭き取ってご使用ください。

■お湯の状態について

①濁りや臭気が気になる

●水質や浴槽の材質、また体質などにより、まれにお湯が３日前後で白く濁る場合があります。またろ過材が新しいときは安定するまで期間がかかることがあります。その場合はお湯を交換し、銀イオン抗菌ろ過材は4日間ほど洗わずにそのままお使いください。ヘアーキャッチャーのみ洗浄してください。何度か繰り返しても改善しない場合はスーパー繊維ろ過材、または大容量フィルターに交換してください。

●300ℓ（実質湯量250ℓ）以上の浴槽や、ご家族数が5人以上でご使用の場合など、大きめの浴槽やご家族数が多い場合は大容量フィルターをご用命ください。

●風呂釜や追い焚き式ボイラー、ジェットバスなどをご使用の場合、釜内や配管経路の汚れが剥がれ出てくることがあります。それらの機器メーカーの指示に従い風呂釜洗浄剤（ジャバなど）で洗浄してください。

●ヘアーキャッチャーや銀イオン抗菌ろ過材は洗浄していますか？

●銀イオン抗菌ろ過材の使用期限が過ぎていませんか？　6ヶ月以上使用されていますと効果が減少します。

●本体内配管洗浄は行っていますか？（8ページご参考）

●入浴しない時間帯に運転を止めていませんか？　ろ過材が著しく汚れ、お湯の浄化ができず、濁りや臭気の原因になります。循環は止めずに設定温度を下げるなどしてご使用ください。運転を止める時は各フィルターを外し、お湯を抜いてください。

●一部の医薬品やサプリメント（健康食品）にお湯の濁りの原因になるものがあります。その場合はろ過材が安定するまでに1～2ヶ月ほどを要することがあります。

※お湯の濁りや臭いが改善しない場合は、お買い求めの販売店か製造元までお気軽にご相談ください。

②お湯がぬるい・温度が上がらない

●低温のお湯を入れませんでしたか？
本装置のヒーターは保温のための機能です。お湯の温度が大幅に下がったときや、浴槽に冷水を溜めた場合は、設定温度に到達するまで数時間を要することがあります。また、湯温が36度以下ですと「Lo」と表示されます。現在ご利用の追い焚きや給湯で湯温を調整してください。

●本装置のヒーターは省エネ設計になっており、極寒期などは浴槽の保温状況により湯温が1度上昇するのに10～30分ほど掛かることがあります。また、入浴時に風呂フタを開けると1度下がることがあります。

●300ℓ（実質湯量250ℓ）以上の浴槽など、大きめの浴槽やタイルなどの材質の場合、極寒期など設定温度までなかなか上がらないことがあります。その場合は通常の風呂フタの他にホームセンターなどで市販の保温シートの併用をおすすめします。お湯の上に保温シートを浮かべたり、風呂フタの裏に貼るなどして、二重フタにしますと保温性能が向上し、電気代の節約にもつながります。

●ろ過材が詰まり気味でお湯の循環量が減少していませんか？

●お湯の設定温度が低くありませんか？

③湯温が設定温度以上になる

●ポンプの熱を保温に利用し、ヒーターの稼働を抑える節電構造を採用しています。そのため夏場など気温の高い時期に、ヒーターが作動しなくてもポンプの熱のみで湯温が設定温度より上がる場合があります。節電性能の証拠なのですが、その場合は設定温度を最低の37℃にしたり、水を足したり、風呂フタを少し開けるなどして調節してください。

アフターサービスと保証について

裏面の保証書の販売店印やお買い上げ日をご確認のうえ、無くさないよう大切に保管してください。

※通信販売などでご購入の場合、システム上、販売店欄に記載の無い場合がありますが、その場合はお買い求め時のお客様情報により、販売店・製造番号・お買い上げ日等は厳重に管理されております。

1 修理・点検

■本装置は製品の大きな故障を防ぎ、最小限の部品交換で末永くご使用頂くために、点検お知らせ機能が付いています。点検やお手入れが必要になった際に、運転を自動停止してお知らせし、お客様の安全を守ります。お買い上げの販売店か、製造元（11ページ）へご連絡ください。小さな異常に気づいたときは、必ず点検・修理依頼をしてください。

■製品の補修用性能部品を製造打ち切り後７年間保有しています。性能部品とは、製品の機能を維持するのに必要な部品です。

2 保証対象外の事項

■本体や漏電しゃ断器を分解・改造したり、他のものと交換したことが原因の故障、およびケガ、災害。

■漏電しゃ断器を外し、電源コードを直結したことが原因の故障、およびケガ、災害。

■アースを接続しないことが原因の故障、およびケガ、災害。

■長期間使用しない場合など、保管状態が原因による本体内の結露による故障。

■使用方法やお手入れを、正しくしていない場合の故障、およびケガ、災害。

■沸かし過ぎ、異物の詰まり、水没したことが原因の故障、およびケガ、災害。

■沸かし過ぎや高温給湯により60℃前後のお湯を吸い込みますと、湯温の安全装置（温度サーモ）が作動し、各電子部品の安全確認点検が必要になり再運転できなくなります。その場合は点検をご依頼ください。（工賃は有料となります）

3 無料修理規定

1．保証期間内でも次の場合は有償修理になります。

（A）上記2の保証対象外の事項による故障。

（B）お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損害および部品の消耗などの場合。

（C）指定先以外での修理・調整・分解・改造などをされたもの、および取扱説明書等に沿わない使用による故障や損傷。

（D）お取り付け後の転倒・落下・輸送・移転などによる故障および損傷。

（E）保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店の記載のない場合、および不実記載がある場合。

（F）保証書のご提示がない場合。

2．転居や贈答品などで、お買い上げの販売店に修理などの依頼ができない場合は、裏面記載の発売元または製造元までお問い合わせください。

3．保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

4．保証書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行できません。この規定は保証書に明示した条件のもとで無料修理をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理・点検・お問い合わせはお買い上げの販売店か、発売元または製造元までご連絡ください。

保　証　書

保証期間内に取扱説明書等にしたがって、正常な状態で使用して故障した場合には、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店もしくは製造元までご依頼ください。

品名／型式	節約宣言 SGR-100（タイプSGR ver.3.2）	製造番号	No.
保証対象	本　体 （ろ過材等の消耗品は含みません）	保証期間	1　年　間 （部品代・工賃など無償修理）
お買上げ日	年　　月　　日		
お客様記入欄	ご住所		
	お名前	お電話	
販売店記入欄	●交換用ろ過材などの消耗品・オプション品のご用命はこちら		

《総発売元》
ユニオンテクノス販売 株式会社　0120-044-026
FAX011-700-4071　〒001-0034 札幌市北区北34条西2丁目1-5-1F

《製造元》
株式会社 京都バストピア　☎075-722-1133
FAX075-722-1231　〒606-0817 京都市左京区下鴨西林町28-2

仕　様

※価格・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

型　　式	SGR-100（タイプSGR ver.3.2）	
本体寸法	幅200mm×高さ280mm×奥行最大200mm	
重　　量	本体のみ：約4.5kg・本体および付属品一式を含む全重量：約8.5kg	
本体材質	ABS樹脂	
電　　源	AC100V　50/60Hz　漏電しゃ断器およびコネクタ付き電源コード7m	
浴槽・入浴人数	250～320ℓ　標準フィルター▶入浴4人位まで　大容量フィルター▶入浴5～6人位まで	
消費電力	最大定格消費電力 597/620W（50Hz／60Hz）（内電熱装置の定格消費電力500W）	
温度設定範囲	デジタル表示37℃～45℃	
保守点検機能	点検お知らせ機能（大きな故障を防ぎ安全を守るために点検やお手入れが必要になった際に運転を自動停止）	
安全装置	①ポンプ空転防止装置（水流センサー） ②漏電保護装置（漏電しゃ断器） ③ヒーター空焚き防止装置（水温センサー・温度ヒューズ） ④モーター異常加熱防止装置（温度ヒューズ） ⑤過電流防止装置（電流ヒューズ） ⑥転倒安全装置（感震センサー） ⑦本体加熱安全装置（水温センサー）	安全基準認証 PSC 消費生活用製品安全法 特別特定製品 適合マーク PSE 電気用品安全法 適合マーク
消耗品	標準仕様の場合、購入時は銀イオン抗菌ろ過材1年分が付属（ろ過材2個・ヘアーキャッチャー4枚入）	

※『節約宣言』はユニオンテクノス販売株式会社の登録商標です。（商標登録第 5434494 号）

SGR-1403-UTS1000